



特定技能分野別 受け入れ上限枠の動向



介護分野の最新動向を調査結果からご紹介します



調査・分析



動向の把握



介護の未来へ



一般社団法人アジアヒューマンサポートセンター
理事 近藤 麻紀子



特定技能分野別、受け入れ見込み数充足度

介護分野は100%までの到達を
考える時期に来ている



介護

介護人材の確保が急務です!

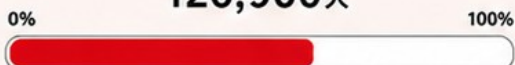


充足率
58.9%

在留者数
74,745人

受入れ見込数 (100%)

126,900人



年間増加数
(令和7年3月末時点から3月末)

+26,332人 ↑

あと必要な人数
(100%まで)

52,155人



外食業



充足率
95.4%

在留者数
47,714人

受入れ見込数 (100%)

50,000人



年間増加数
(令和7年3月末時点から3月末)

+16,498人 ↑

あと必要な人数
(100%まで)

2,286人



建設業

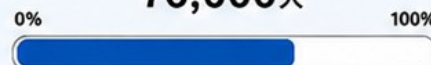


充足率
67.2%

在留者数
51,055人

受入れ見込数 (100%)

76,000人



年間増加数
(令和7年3月末時点から3月末)

+9,957人 ↑

あと必要な人数
(100%まで)

24,945人



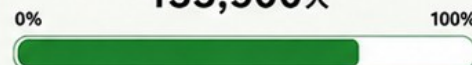
飲食料品製造業

充足率
72.2%

在留者数
96,367人

受入れ見込数 (100%)

133,500人



年間増加数
(令和7年3月末時点から3月末)

+20,509人 ↑

あと必要な人数
(100%まで)

37,133人

注目!

外食業は受入れ見込数の95.4%まで達成!
介護分野は58.9%の充足率

**介護分野はあと52,155人で
受け入れ上限に。**



今後のポイント

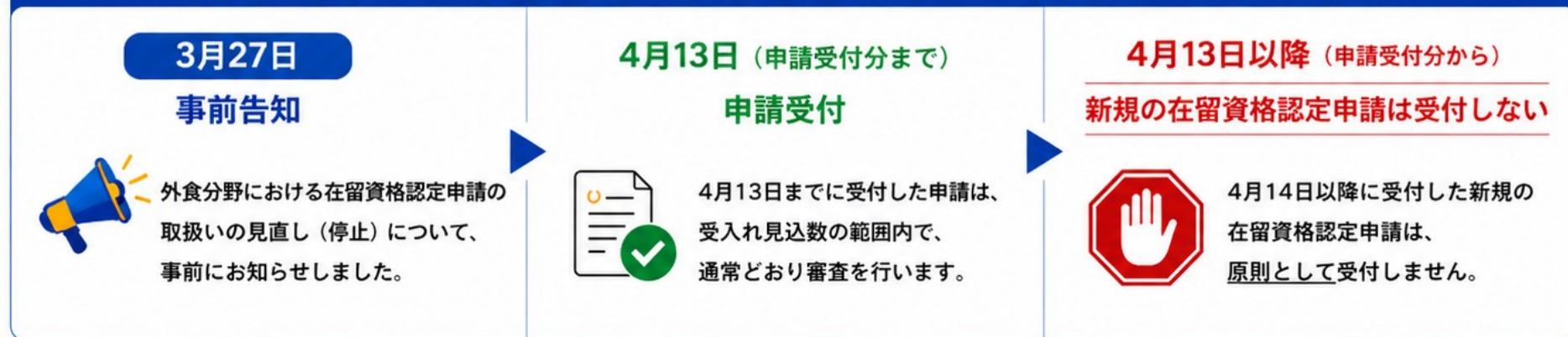
- ✓ 介護人材の安定確保が急務
- ✓ 受入れ環境の整備・支援の強化
- ✓ 企業と地域が一体となった取り組みを推進



外食分野で実際に起きたこと（概要）



外食分野における在留資格認定申請の取扱いに関する流れ（事前告知～停止まで）



停止されたこと



新規COE交付の停止



特定技能試験の停止

継続されたこと



一部の申請・手続きは継続



外食分野停止後の運用状況

項目	内容	状況
 新規COE交付	海外からの新規受入	 停止
 国内試験	国内での特定技能評価試験	 停止
 海外試験	海外での特定技能評価試験	 停止
 技能実習修了者	技能実習から特定技能への移行	 特定活動で待機
 特定活動から特定技能へ	受入枠が空き次第、順次許可	 順次許可
 特定技能Ⅰ号での 転職	原則的に許可	 継続
 停止前に受付した案件	停止前に申請・受付した案件	 順次許可

ポイント

完全停止ではなく、
**待機させながら
順番に許可する**
運用が行われた！





在留資格に関する申請の取扱いについて(概要)

受入れ見込数を踏まえた審査・許可の取扱いは以下のとおりです。
申請の際は、内容をご確認のうえ、計画的に対応ください。



1 在留資格認定証明書 交付申請

受付停止中



令和8年4月13日から、
在留資格認定証明書の交付を
一時的に停止しています。

2 在留資格変更許可申請

以下の申請については、
受入れ見込数を踏まえ、
通常どおり審査が終了次第
許可しています。



許可の対象となる申請

	(1) 技能実習(医療・福祉施設給食製造作業)からの変更申請	⇒ 受付日が 令和8年5月31日までの申請
	(2) 外食業分野に係る特定活動(特定技能1号移行準備)からの変更申請	⇒ 受付日が 令和8年5月31日までの申請
	(3) 特定技能1号(外食業分野)からの変更申請(外食業分野内での転職)	⇒ 全ての申請
	(4) 上記(1)から(3)以外の在留資格からの変更申請	⇒ 受付日が 令和8年4月12日までの申請

※(4)については、**令和8年4月13日**(在留資格認定証明書の一時的な
受付の停止措置開始日)以降に受理した申請については、原則不許可となります。

3 在留期間更新 許可申請



通常どおり順次審査が
終了次第許可しています。





外食事例から分かること

上限到達前から受入制限は始まる！



受入制限までの流れ（イメージ）

① 受入人数の増加



② 約90%ライン



ここが
重要ポイント！

③ 受入停止準備開始



④ COE停止・試験停止



⑤ 特定活動で待機



⑥ 順次、特定技能へ許可



実際に起きたこと

✓ 上限の**約90%**に達した段階で
受入制限が始まった

✓ 新規の受入は停止されたが、
既にいる人は**特定活動**で待機

✓ 受入枠が空き次第、**順次**
特定技能へ変更が行われた

新しい人は
入れないの？



上限の**約90%**に達したため、
受入制限が開始されました。
空が出たら**順次、特定技能**へ
変更していきます。



まとめ

上限到達ではなく、

“90%ライン”が重要！

早めの受入計画と学習支援が必要です。



介護分野の受入状況 (2026年3月末時点 速報値)



現在の充足率は **58.9%** です



2029年3月31日までの
受け入れ上限人数
126,900人

受け入れ上限まで
52,155人
(41.1%)

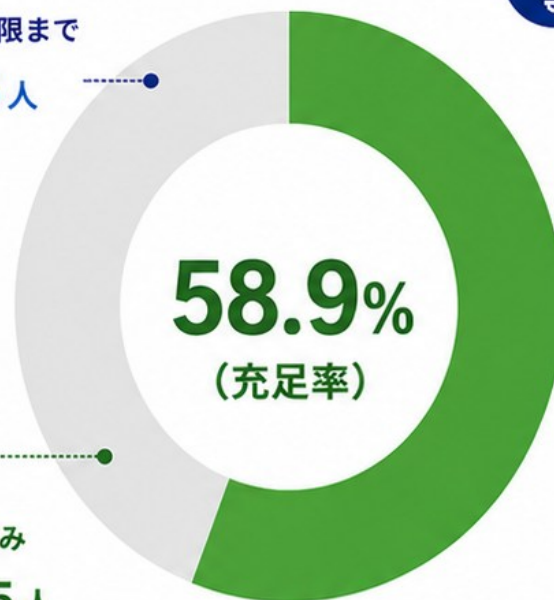


2026年3月末 (速報値)
受け入れ人数
74,745人



現在の充足率
58.9%

受け入れ済み
74,745人
(58.9%)



まだ余裕があるように見えますが、
ベース次第で早期に
90% (約114,200人) に
到達する可能性があります。



まとめ

2026年3月末時点の受け入れ人数は **74,745人**、受け入れ上限は **126,900人**、
現在の充足率は **58.9%** です。今後も計画的な受け入れと育成が重要です。

※受け入れ人数、受け入れ上限人数は外国人介護人材受け入れに関する最新の制度・データに基づきます。

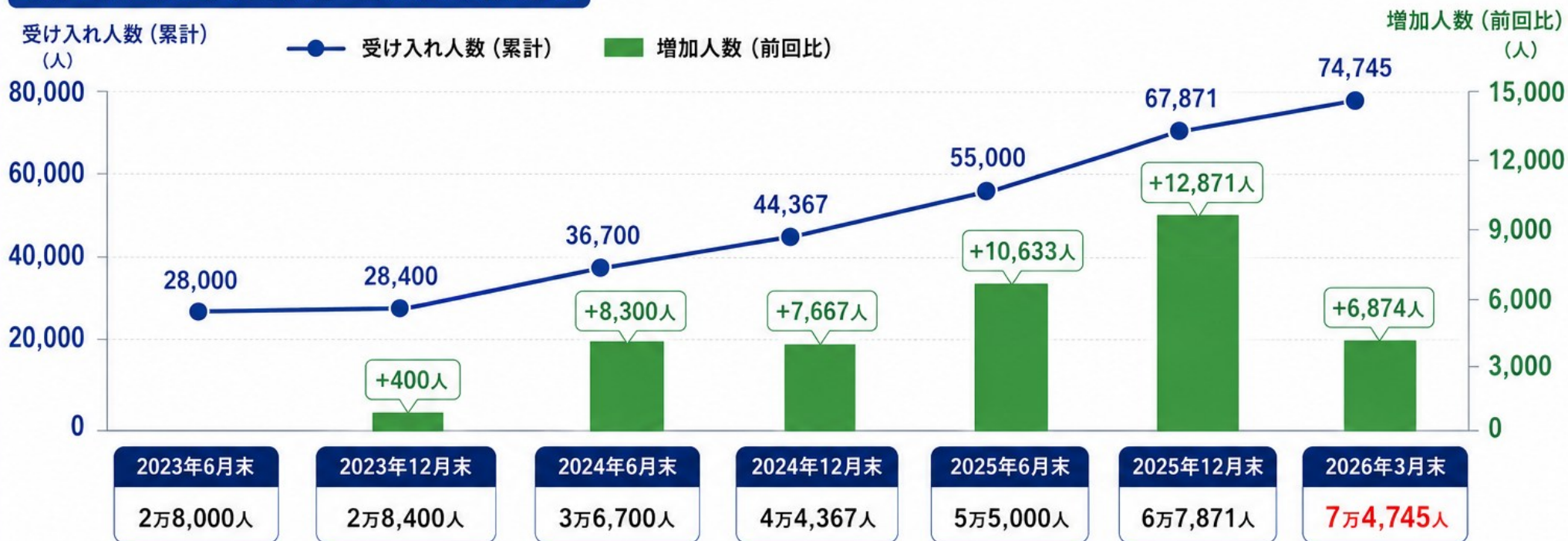


特定技能介護の受け入れ人数の推移と増加数



特定技能介護の受け入れ人数は、2024年以降急速に拡大し、2025年後半には半年間で**約1万3千人増加**しています。

受け入れ人数の推移（累計）と増加人数（前回比）



まとめ

受け入れ人数は 2万8,000人（2023年6月末）から **7万4,745人**（2026年3月末）へ



約2.7倍に増加！
(増加率：約167%)

増加数（2023年6月末からの累計）

+4万6,745人

増加のポイント

2024年以降、受け入れ人数が急速に拡大！
特に2025年後半は半年間で**約1万3千人増加**しています。

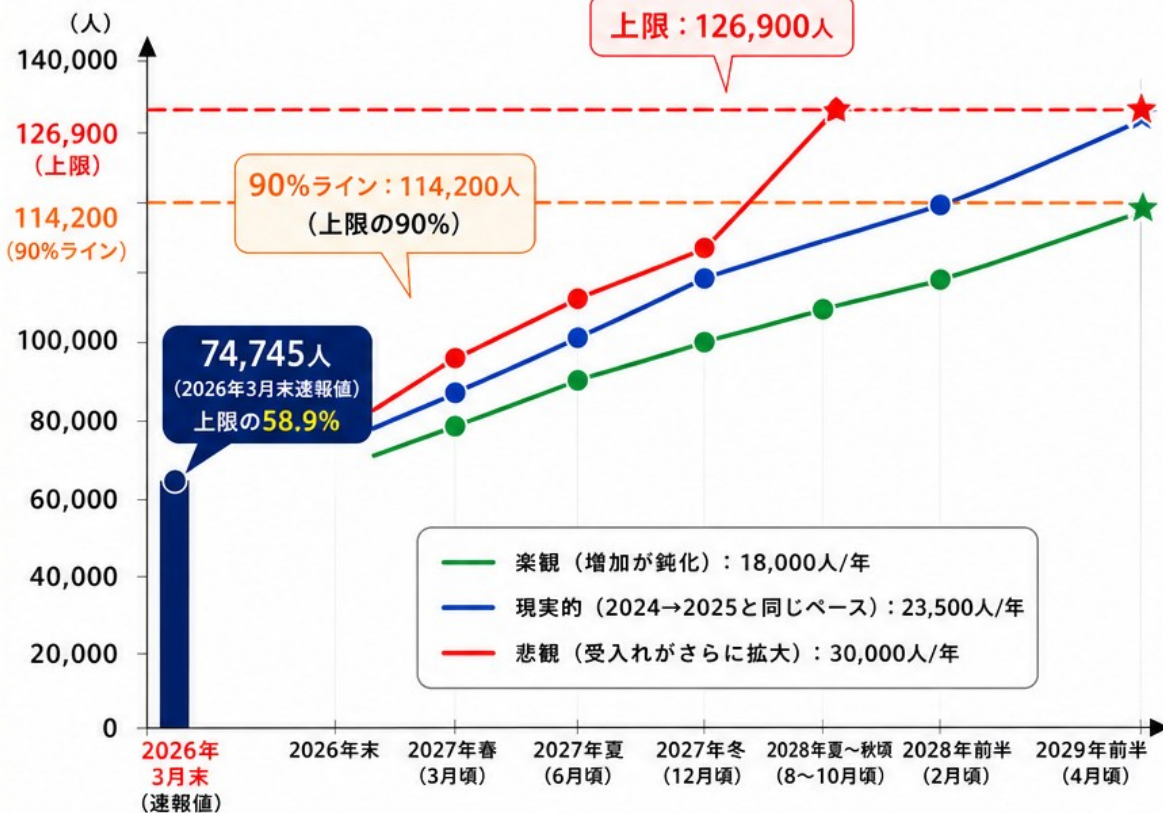


特定技能「介護」上限到達までのシミュレーション(3つのシナリオ)



現在のペースで増加すると、**2027年後半～2029年前半**に**上限(126,900人)**に到達する見込みです。

上限までの進捗イメージ



3つのシナリオ比較

90%ライン (約114,200人)
到達時期の予想 (停止検討の目安)

上限 (126,900人)
到達時期の予想

悲観
(受入れがさらに拡大)

2027年春頃

到達まで
約**10**か月

2027年冬頃

到達まで
約**1**年

現実的
(2024→2025と同じペース)

2027年夏～秋頃

到達まで
約**1年4～6**か月

2028年前半頃

到達まで
約**1年9～10**か月

楽観
(増加が鈍化)

2028年前半頃

到達まで
約**1年9～10**か月

2029年前半頃

到達まで
約**2年6か月～2年9**か月

※到達までの期間は2026年4月1日から計算しています。

まとめ

2026年3月末時点 **約74,745人**から、90%ライン (約114,200人) までは**約39,455人**の増加が必要です。

到達時期の目安 (シナリオ別)

悲観：2027年春頃

現実的：2027年夏～秋頃

楽観：2028年前半頃

上限までの
残り人数

上限 (126,900人) までは
約52,155人の増加が必要です。

介護分野でも想定される運用（外食との比較）

外食分野（実例）

- ① 約90%ライン到達
- ▼
- ② 受入停止準備
- ▼
- ③ COE停止・試験停止
- ▼
- ④ 特定活動で待機
- ▼
- ⑤ 順次、特定技能へ許可



介護分野（想定）

- ① 約90%ラインに到達
- ▼
- ② 受入制限の注意喚起
- ▼
- ③ COE停止・試験停止？
- ▼
- ④ 特定活動で待機？
- ▼
- ⑤ 順次、特定技能へ許可？

介護分野も
外食分野と同様の
流れになる**可能性が
高い**と考えられる



外食分野の実例を参考に、介護分野でも同様の運用が想定されます。
早めの準備と情報収集が、安定した受け入れ体制につながります。



今から準備しておくべきこと



1 早めの採用計画



90%ライン到達前に
余裕を持って採用を
進める

2 面接・選考の 前倒し



面接・選考の時期を
早め、内定までの期間を
短縮する

3 技能実習修了予定者の 確保



自施設の技能実習生の
修了時期を把握し、
移行計画を立てる

4 最新情報の定期確認



出入国在留管理庁の
発表や制度改正を
定期的に確認する



早めの準備と情報収集が、受け入れ上限に達する前の円滑な対応につながります。





ご清聴ありがとうございました



本資料の無断転載、複製、加工はご遠慮ください。

本資料の作成には生成AIを活用しています。内容については講演者が確認・編集を行っています。